

数を読もう 1

目標：1～10の数を読むことができ、5までの数を使うことができる。

時間	児童生徒の活動	指導上の留意点・教材
5	1 前回までの復習をする。 ① 授業で使う言葉の復習をする。 (例) 「立ちます」、「座ります」、「読みます」 ② 挨拶の復習をする。 (例) 「こんにちは」、「さようなら」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 「授業の言葉を覚えよう」の復習をする。 ・ 3 「挨拶をしよう」の復習をする。
10	2 1～10の数の数え方を練習する。 ① 1～10の数字を母語で確認する。 ② 数字のカードを見ながら、教師のあとについて1～10を繰り返す。 ③ コインの表に「1」、裏に「2」と書かれた数字のどちらかを見て、書かれている数字(1か2)を答える。 ④ ③の活動を、数字を変えて行う (例) 「3/4」、「5/1」、「2/3」等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ★数字のカード 1～10のカード </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ★コイン 表裏に「1/2」など、異なる数字が書かれた物を用意する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4の読み方については、本時では「よん」のみを扱う。
10	3 カードめくりゲームを行う。 ・ 裏を向けて置かれた1から5カードをめくり、めくったカードの数字を正しく言えたらもらえるゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の様子を見て、カードの数を調整する。
10	4 つかみ取りゲームをする。 ・ 赤、青、黄のカラーボールを片手でつかみ、それぞれの色の数を正しく数えられたら正解というゲームをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ★つかみ取りゲーム 赤、青、黄のカラーボールを各5個入れた、箱を用意する </div>
10	5 簡単な足し算、引き算を日本語で読む。 ① 四角の中に数を記入する。 (例) $1 + 2 = \square$ $5 - 4 = \square$ ② 計算式と答えを読む。	

凡例：・留意点 ★教材